

2021年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科

デビュープランニング

対象	1年次	開講期	通年	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	館亜里沙			実務経験	有	職種	ミュージシャン、ステージディレクター				

授業概要

ミュージシャンにとって自身の活動と直接関わりの発生する著作権について、体系的に学ぶ授業である。実際に発生した事例にも触れながら、レコード会社や音楽出版社の役割・JASRACの役割・音楽著作物に発生する諸権利・メディア利用における注意点など、ミュージシャンとして必要な著作権に関する知識を網羅する。

到達目標

◎著作権やそれをめぐる諸問題について、知識や見聞を身に付けることにより、ミュージシャンに必要な倫理観を備える。◎著作権や著作権と関わる音楽機関について知ることで、音楽業界に関わる社会人として、必要なスキルの一部を手にする。

授業方法

『よくわかる音楽著作権ビジネス基礎編5thEdition』（安藤和宏）をもとに、授業スライドによる講義を行うと共に、オンラインフォームを利用したミニレポートを課す。

成績評価方法

出席（30%）、毎授業のミニレポートおよび授業への参加態度（30%）、学期末レポート（40%）

履修上の注意

専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。

教科書教材

回数	授業計画
第1回	音楽産業の基本構造と権利関係／レコード会社の役割
第2回	プロダクションの役割／JASRACの役割／Next Toneの役割
第3回	音楽出版社の役割

第4回	音楽出版社の役割②
第5回	人格権・編曲権／アレンジャーの権利
第6回	パブリック・ドメインと編曲著作物／レコードの権利／団体名義の著作物
第7回	海外の著作権に関する法律／日本人ミュージシャンの海外での権利
第8回	外国曲の著作物についての注意
第9回	放送・二次使用について
第10回	CMと著作権
第11回	エンターテイメント業界と音楽著作権
第12回	エンターテイメント業界と音楽著作権②
第13回	レンタル・レコードと著作権
第14回	音楽配信と著作権
第15回	再販制度・パブリシティ権／授業のまとめ